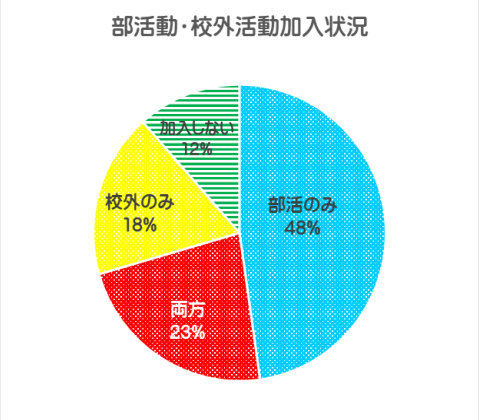
光る知性　豊かな心　強い意志

南 中 生

長井市立長井南中学校
令和　６年　５月２２日
校長　柿　崎　　円

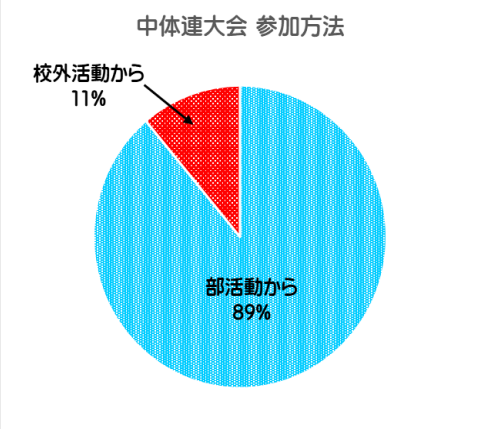
それぞれの選択を尊重
尊重しながらつながる
「チーム南中」 新しい形の壮行式(「士気を高める会」仮称)を



部活動は４月末に本入部となり、運動部に所属している生徒は、６月１５，１６日に行われる地区中体連体育大会に向け、GW や週末も練習試合や大会に参加し、技術と心を磨いています。中には、大会参加の有無にかかわらず、自分たちの活動に誇りを持ち、やり切る志を大切にして練習に取り組んでいる部もあります。

【部活動・校外活動加入状況】

グラフは、本校の部活動・校外活動の加入状況です。部活動と校外活動（以下　地域クラブ）の両方に所属している生徒が２３%となっていますが、所属している部活動と加入している地域クラブの種目が同じ種目とは限りません。部活動と同じ種目の地域クラブで活動している生徒もいれば、「部活動は文化系だが地域クラブはスポーツ系で活動」など様々です。また、１２%の生徒がどこの団体にも所属せず、平日の放課後や休日は自分の時間を自分で考えて生活しています。生徒たちの選択やライフスタイルは、予想以上に多岐にわたるものであることを感じます。



【中体連大会参加方法】

左のグラフは、中体連大会への参加方法です。多くの生徒が部活動からの大会参加になりますが、地域クラブで出場する生徒が１１%います。

今年度より、地域クラブ選手は「個人戦」に地区大会から参加することができます。組み合わせによっては、地区大会の一回戦から南中生同士が対戦するケースもあります。

「チーム種目」「団体種目」については、地域クラブは県中総体（以下　県大会）からの出場になります。競技ごとに県大会出場をかけた予選会が開催され、予選を勝ち抜いた地域クラブが県大会に出場できます。

【今後考えられること】

このように中体連大会への参加方法・体制も大きく変わってきました。今後、生徒たちの選択がさらに広がった場合、部活動加入以外の選択をする生徒が増える可能性が考えられます。それに伴い、試合参加人数に満たない部活動が出てくることや、合同チームを組むなどで大会参加方法を探ってはいきながらも条件等が整わず大会への参加が叶わないケースも出てきます。（今年度も該当部活動あり）

【多様性を認めるところから、つながりあって輝く「チーム南中」へ】

部活動に関してもこのように変化の大きい時代です。主体的に物事をとらえ、自ら考え判断し行動できるしなやかに生き抜く子どもたちを育てるためには、**多様な選択を尊重するに留まらず、尊重しながらつながり合い、それぞれの立場で活躍する場を大事にしたい**と考えます。

例年、中体連大会に参加する選手を中心に応援する壮行式を行ってきました。選手たちは壮行式で気持ちを引き締め、大会への決意を新たにしていました。多くの保護者の方々にお子さんの雄姿をご参観いただきました。

今年度は、大会に出場する生徒を応援する壮行式の形から、

- **どのような立場でも頑張っている南中生全員に、南中生全員がエールを送る時間。**
- **「チーム南中」を感じられる時間。**
- **一人一人が「よし！がんばるぞ！」「やってみっかな！」を確認できる時間。**
- **運動やスポーツには多様な関わり方があることを知る時間（する、みる、しる、ささえる）。**
- **南中学区の小学６年生に、中学生になる期待や夢を持ってもらう時間。**
- **保護者の方とも一体感を感じられる時間。**

そんな新しい会を創りたいと思っています。

現在、名称・内容の詳細は生徒・教職員からの声を聴きながら検討中です。今までの「壮行式」のイメージとは変わる部分もあるかと思います。南中生全員が主役の時間を目指します。新しいことを創り出す時、物事を変える時は不安や心配がいっぱいです。しかし、南中生が様々な立場の仲間に思いを馳せ、知恵を出し合って創り出すものは、必ず心に響き、勇気を与えるものに違いありません。新しい風は、間違いなくあたたかい南風です。

保護者の皆様には温かく見守っていただき、エールを送っていただければ幸いです。どうぞよろしくお願いいたします。